

市職員の「認知症サポーター養成講座」開催について

～市長、副市長、教育長も受講～

糸島市では、認知症についての正しい知識を持ち、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する“応援者”である“認知症サポーター”の養成を平成23年度から進めており、現在約5,100人のサポーターが誕生しています。

市職員については、窓口や地域において認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族に接する機会が増えており、認知症を正しく理解したうえでの適切な対応が必要となっています。

今回、市民サービスの更なる向上及び認知症サポーターの普及のため、三役をはじめ全職員が市民に率先して「認知症サポーター養成講座」を受講します。

研修日程等

日時：平成29年1月13日(金)、17日(火)、18日(水) 各日15時30分～17時00分
及び2月(日時調整中)に3回 計6回実施予定

※三役は1月13日(金)受講予定

場所：市役所新館5階 1号会議室

対象：全職員(保育所、消防含む)約560名(うち、67名は昨年度受講済み)

講師：糸島市認知症キャラバン・メイト連絡協議会会員 土居 孝男 氏

<参考>

・糸島市における認知症サポーター数 5,105人(平成28年11月末現在)

<受講者数推移>

平成26年度	631人	→	うち、児童・生徒 616人
平成27年度	1,257人		小学校5校(深江4年、引津4年、南風3年、可也3年、
平成28年度 (11月末現在)	1,087人		加布里4年) 369人 中学校1校(前原東1年) 247人

・糸島市高齢者数(H28.12.1現在)

65歳以上 27,242人 高齢化率 27.2%



オレンジリングとキッズ(小・中学生)
サポーター用キーホルダー

【問い合わせ先】

健康増進部 介護・高齢者支援課
高齢者支援係 担当：原田
TEL：323-1111(内線1562)
332-2070(直通)

認知症について一緒に学びませんか？

地域や

職場、

学校で！

認知症サポーター

養成講座のご案内

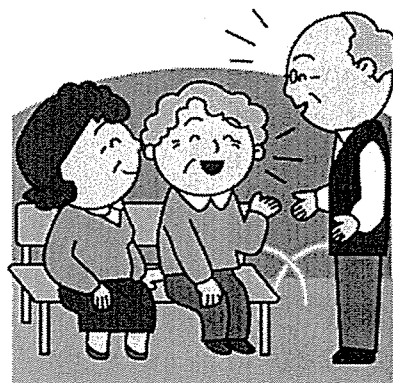
認知症サポーターとは

なにか特別な事をする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族を温かく見守る「応援者」です。

認知症を正しく理解

認知症は、誰にでも起こり得る脳の病気です。85歳以上の4人のうち1人に、認知症の症状があるとされています。

認知症により、これまでの日常生活の様々な場面で困り事が出てくる事もありますが、周囲の理解や気遣いがあれば、穏やかに暮らすことができます。



受講しませんか？

市では、認知症の人やその家族を支えてもらう「応援者」を増やす為、認知症サポーター養成講座の開催を支援しています。

講師は、認知症に詳しいキャラバン・メイト。市と協働で地域や学校、職場などで認知症サポーターの育成を行います。

認知症について学習し、支援したいと考える地域や団体があれば、キャラバン・メイトが出向いて講座を行います。

講座時間は、90分。受講した人には「認知症サポーター」の証として、**オレンジリング**を配布します。



オレンジリング

<認知症サポーター受講申し込み・問い合わせ>

開催を希望する地域や団体などは、開催予定日時、参加者数、会場などを所定の申込用紙(裏面)にて、窓口で又はファックスでお申し込み下さい。お電話でのお申し込みも受け付けています。

申し込み・問い合わせ先

糸島市健康増進部 介護・高齢者支援課

電話：332-2070 FAX：321-1139



糸島市 UIJ ターン「職・住・余暇」相談会の開催について

【概 要】

市は、初めての試みとして、首都圏在住の転入希望者に対して、東京からの移住者による「糸島ライフの紹介」、市内企業による「就職相談」、市農業・水産業担当部署による「就農・就漁相談」等を同時に行う UIJ ターン「職・住・余暇」相談会を開催します。

県内市町村が東京において単独主催で行う移住関連イベントは、北九州市、筑前町、小竹町、久留米市に続き 5 自治体目。地元企業による就職相談と先輩移住者による移住相談を組み合わせる移住関連イベントは県内初（糸島市調べ）。

- | | |
|--------|--|
| ○ 日 時 | 平成 29 年 1 月 21 日（土曜日）11 時 00 分～17 時 30 分 |
| ○ 会 場 | 移住・交流情報ガーデン 1 階フロア
（東京都中央区京橋 1 丁目 1-6 越前屋ビル 1F） |
| ○ 内 容 | ◎東京からの先輩移住者による「糸島ライフの紹介」
（30 代、会社員、女性、2 児の母、東京都港区から昨年移住）
◎市内企業による「就職相談」
（食品加工業、飲料製造、運送業、総合建設業）
・市農業・水産業担当部署による「就農・就漁相談」
・市定住促進担当部署による「移住相談」 |
| ○ 対象者等 | 首都圏在住者（メインターゲット：20 代～40 代） |
| ○ その他 | 入場無料、入退場自由 |
| ○ 主 催 | 糸島市 |

【現状・課題】

- 本市への移住相談者のうち、首都圏在住者からの問い合わせは九州在住者に次いで 2 番目に多い（全体の 20%）。
- これまでの首都圏での移住イベントで、本市ブースを訪問した来場者のほとんどが、「仕事」が移住のハードルとなっていると回答（全体の 82%）。
- そのような中、市は、移住相談者に対して地元の就職先を紹介することが難しく、相談者を移住につなげる決定打を欠いた状況だった。

首都圏在住の移住希望者にとって、仕事の確保が移住を決断する大きな要因となる一方で、就労情報が十分に手に入らないことが課題となっています。

今回の UIJ ターン相談会では、移住希望者が市内企業や先輩移住者などと直接話をする機会を設けることで、移住希望者の不安や疑問を解消して本市への移住促進を図ります。

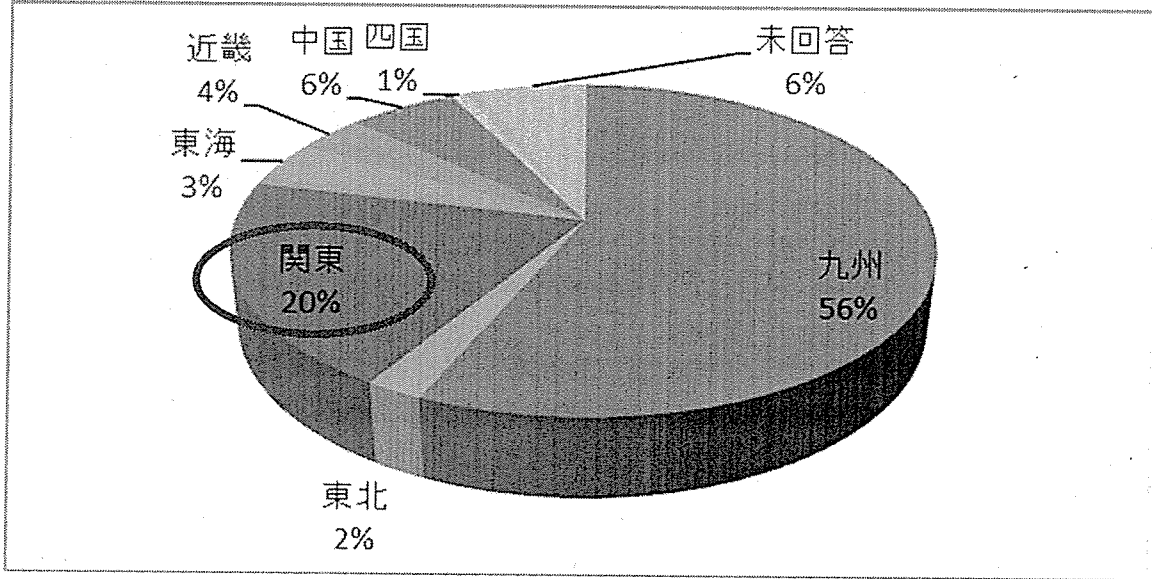
【問い合わせ先】

企画部地域振興課定住・学研都市係
（担当：大鶴、渡邊、藤崎）
TEL：092-332-2062（直通）

【別 紙】

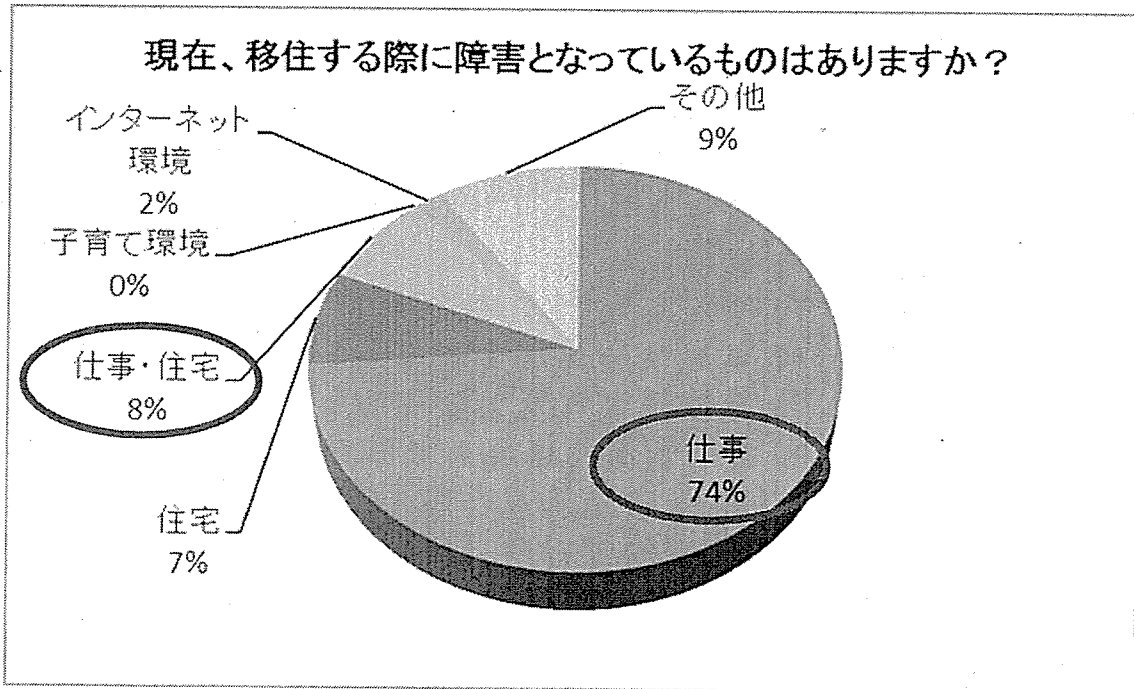
1. 本市への移住相談者の現住所

- 集計期間：平成 28 年 1 月 4 日～11 月 30 日
- 回答者：のべ 135 人（転入相談記録記入者）
- 相談方法：来庁、電話またはメール



2. 移住希望者（首都圏在住）の移住のハードル（障害）

- 首都圏で開催した移住イベントでの相談者アンケートより。
- 集計期間：平成 27 年 6 月 14 日～平成 28 年 11 月 13 日
- 回答者：のべ 113 人（市ブース訪問者）





糸島市 UIJターン相談会

～職・住・余暇のある移住～

1月21日(土)

【時間】 11時00分～17時30分
(最終受付17時)

【会場】 移住・交流情報ガーデン
1階フロア
(東京都中央区京橋1丁目1-6)

★参加無料
★入退場自由

《出展ブース》

◎糸島ライフの紹介

東京からの先輩移住者が移住後の生の声をお伝えします！

(30代、会社員、女性、2児の母、東京都港区からH27年移住)

◎就職相談

市内企業の担当者が求人情報をご紹介します！

(参加企業：総合建設業、食品加工業、飲料製造等)

◎就農・就漁相談

市農業・水産業担当者が新規就農・就漁のお悩みにお答えします！

◎移住相談

市定住促進担当者が移住に関する全般にお答えします！

【問い合わせ】

糸島市地域振興課定住・学研都市係 (福岡県糸島市前原西一丁目1番1号)

TEL: (092) 332-2062 FAX: (092) 324-0239

Eメール: chiikishinko@city.itoshima.lg.jp

糸島市定住促進サイト「糸島生活」
<https://itoshimalife.city.itoshima.lg.jp>

